



胡桃  
み

笠間稻荷神社◎社報

被災報告  
常陸七福神めぐり



# 東日本大震災にあたり

三月十一日に発生いたしました、東日本大震災において被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。この震災によつて笠間稻荷神社におきましても、本殿柱、鳥居の倒壊、社務所、境内各種工作物にいたるまで大きな被害を被りました。しかしながら、当日多くの方に参拝に来て頂いていた中、人的被害が一切なかつた事は幸いでした。

この、未曾有の大地震、大津波、原発事故というまさに三重苦と言うべき国難に際し、見えたものがあります。それは、日本人の姿でした。国民は秩序正しく、被災者でありながらも他を思いやることを忘れず、助けあう姿を見せていました。その姿に、海外メディアは称賛を惜しみませんでした。普段、日本に批判的な論調が目立つ中国でさえもその姿を称えました。そして、この日本人の国民性が、第二次世界大戦後の奇跡的な復興をなしとげた要因であり、此度の困難に対しても必ずや克服し、美しい日本をとり戻すであろうと。

天皇陛下におかれましては、三月十六日にテレビを通しあことばを発せられ、その後、自主的な節電、様々な形でのご援助、被災地の方々を励まされるためのご訪問をなさるなど、心寄せられております。そのお姿に深い敬意を感じ入るばかりです。陛下は「自衛隊、警察、消防、海上保安庁をはじめとする国や地方自治体の人々、国内のさまざまな救援組織に属する人々が余震の続く危険な状況の中で、日夜救援活動を進めている努力に感謝し、その労を深くねぎらいたく思います」と申されました。陛下御自らが、自衛隊の労を直接ねぎらわれた事は、戦後の歴史上、非常に意味のあることであり、今尚、救援活動に従事している自衛隊員にとってどれだけの励ましになつたことでしょうか。

笠間稻荷神社の菊まつりを通して、交流を持ちますドイツのラー市からは復興の願いを込めて、子供たちが歌を歌つた動画や、励ましのメッセージを込めた、ポストカード・ハ七一通が送られてきました。ロータリーや様々な活動を通して、交流のある、アメリカ、台湾、韓国、フィリピン、タイ、レバノン、クウェート、ヨルダン等、各国からも励ましの言葉を頂きました。厚く感謝する次第です。

地震から三ヶ月がたち、当社も徐々にですが復興への歩をみせております。しかしながら、前述しましたように、その被害規模は大きく、まだまだ多くの困難があることと存じます。職員一同、まずはご参拝に来て頂くご崇敬の方々の安全を確保しながら、復興奉賛会を立ち上げ、笠間稻荷神社が震災以前よりもすばらしい姿となるよう努力しております。

最後に、書面にて恐縮ではございますが現在に至るまでに多くの方々に、お見舞い、復興へのご奉賛の誠心を頂いておりましたことを感謝申し上げ、皆様の御心に叶う、笠間稻荷神社への復興をお誓い申し上げます。今後とも、ご指導、ご鞭撻、ご協力を願い申し上げます。

笠間稻荷神社 宮司 塙東男

# 笠間稻荷神社被災報告

三月十一日 午後二時四十六分頃、東北沖を震源とするマグニチュード9の地震が東日本をおそいました。笠間市でも震度6強の揺れがあり、笠間稻荷神社も被災しました。



被害は大きく 参道の6m鳥居は倒壊、7・5mの鳥居は一部損傷、今後倒壊の危険があるため、崇敬者の安全を考慮し、撤去。

境内末社の2mの鳥居も倒壊しました。境内燈籠の倒壊、地盤沈下による常夜灯の傾斜、眷属の落下による損壊、手水舎の横ずれざざれ石の柵の倒壊、楼門の破損、東門の額の落下、拝殿東・西廻廊取り合い部分損傷、玉垣の倒壊、境内地面上には亀裂が走りました。



# 重要文化財の損傷

国指定重要文化財の本殿も被害を受けました。繫虹梁（龍彫刻）の亀裂損傷・柱とのずれ、向拝柱の横ずれ、床柱の傾斜、基礎基盤のずれや陥没が起こりました。又、崇敬者奉納の玉垣も一部損傷および倒壊、美術館の屋根瓦が落ちるなど被害は多岐にわたりました。



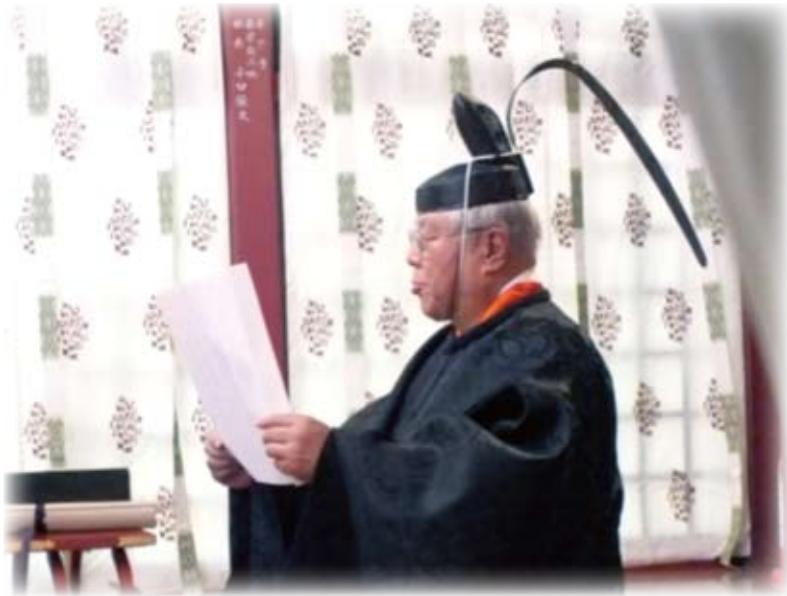
社務所の被害も大きく、旧館・新館の繋ぎ目から内壁、外壁にヒビが入り破片が散乱、階段の壁のパネルが落ち、貯水タンクも破損し、停電や断水により通常の社務が困難になりました。  
幸いにもこの地震による人的被害はありませんでした。



四月九日には例大祭に併せ

国家の安泰を祈り

復興祈願祭を斎行しました。



大震災以降、神社本庁副総長・熱田神宮宮司小串和夫様、  
神宮少宮司高城治延様、伊弉諾神宮宮司本名孝至様、  
伏見稻荷大社宮司中村陽様、鶴岡八幡宮宮司吉田茂穂様、  
東京大神宮宮司松山文彦様を始め、多くの神職の方々に  
当社にお越し頂き復興への祈りをささげて頂きました。

尚、今日に至るまで神社界の皆様、崇敬者の皆様には  
お見舞い、温かい励ましの言葉を頂いておりのこと、厚く  
御礼申し上げます。

当社では、一日も早い復興を目指し、復興奉賛会を立ち上げ、  
皆様のご奉賛を募っております。

何卒、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。  
お問い合わせ 電 話 0296-73-0001  
復興奉賛会事務局まで



# 八七月

七日  
一日  
二日  
三十日

月次祭  
一の午  
事比羅祭  
末社祭  
旧大祓式  
月次祭  
事比羅祭  
一の午  
献燈祭



## 笠間稻荷神社 祭事予定

献燈祭 八月七日（第一日曜日）  
午後五時

火は、我々の暮らしに大きな恵みをもたらしてくれますが、時には災いの元にもなります。

当日は三月十一日に起きた東日本大震災の被害に遭われた方々の慰靈祭を斎行するとともに、火がもたらす日々の恵みに感謝と、稻荷大神様の御神威により國家繁栄と皆様の諸祈願成就を祈念し、夕刻になると境内の行燈に、灯りが灯されます。

行燈は

中行燈 五千円

�行燈 壱万円

よりご奉納頂けます。

事比羅祭  
末社祭 八月一日 午後一時

笠間稻荷神社の境内に枝社（えだやしろ）としてお祀りされた事比羅神社、月読神社、白山比咩神社、菅原神社、粟島神社、山倉神社の例祭が斎行されます。



# 十月 九月

一日	月次祭
六日	中秋祭
十五日	秋季皇靈祭遙拝式
二十三日	小笠原流弓馬術礼法
二十五日	三々九手挾式
月次祭	
一日	菊まつり開催奉告祭・開場式
十六日	神嘗祭奉祝祭
十七日	講社大祭
菊花品評会早咲き審査	



神嘗祭奉祝祭 十月十七日 午前八時

毎年旧暦の八月十五日、中秋の名月と呼ばれる十五夜の日に、月読神社の前にすきや団子をお供えして、月読尊の御神徳に感謝を捧げるお祭りが斎行されます。

神嘗祭は、その年に収穫された初穂を伊勢の神宮にお祀りされる皇祖・天照大御神（あまたらすすめおおみかみ）にお供えする、神宮で非常に重要なお祭りです。

宮中では天皇陛下が神宮を遙拝し、賢所で親祭を行われ、当日は全国の神社で慶祝の意をこめて奉祝祭が斎行されます。

講社大祭 十月二十五日 午前十一時

当神社には、古くから「講中」という、団体で参拝される崇敬者（講員）の組織があります。

講社大祭は、講員を束ね導く先達や講元をはじめ、世話人などの参列のもと、大神様に国家の安泰と世界の平和、そして各講中と講員の隆盛を祈願するお祭りです。



# 一月



月次祭  
菊花品評会・中咲き審査  
明治祭  
神事流鏑馬  
菊花品評会・遅咲き審査  
八日  
十一日  
十五日  
二十日  
二十三日  
一の午  
霜月祭  
舞楽祭  
新嘗祭・献穀献繭祭



## 神事流鏑馬 十一月三日 十時半、十四時半

昭和二十五年に始まり、農業の豊凶を占うと共に伝統文化の継承・保存を目的として、毎年文化の日に斎行しています。境内で安全祈願祭の後、笠間小学校前の特設馬場にて神事を斎行します。

茨城県は全国的にも菊花栽培が盛んで、当品評会は昭和六年の開催から、本年で八十回を迎えます。菊花は全国大会で優秀な成績を収めている方達に審査される為、全国大会への登竜門といえるほどレベルが高く、出品された菊は境内に並べられます。

**新嘗祭・献穀献繭祭**  
十一月二十三日 午前十時

新嘗祭は、宮中および全国の神社で行われる収穫祭で、豊穰を祈る二月の祈年祭と対置されます。当神社では新嘗祭に併せて「献穀献繭祭（けんこくけんけんさい）」が行われ、新米や新繭を奉納し、神前に収穫を感謝します。

## 茨城県菊花連盟菊花品評会

茨城県は全国的にも菊花栽培が

盛んで、当品評会は昭和六年の開催から、本年で八十回を迎えます。

菊花は全国大会で優秀な成績を収めている方達に審査される為、全国大会への登竜門といえるほどレベルが高く、出品された菊は境内に並べられます。



# 十二月

一日  
五日  
二十二日  
御火焚串炎上祭  
二十三日  
天長祭  
二十八日  
鹿島祓  
大晦日  
年越しの大祓

月次祭  
一の午

二十二日  
御火焚串炎上祭  
二十三日  
天長祭  
二十八日  
鹿島祓  
大晦日  
年越しの大祓

天長祭 十二月二十三日 十一時

天皇陛下の御誕生日は天長節として古くから国を挙げてお祝い申し上げていてる日で、明治六年から天皇誕生日として国民の祝日に加えられています。この佳き日に、天皇陛下の御降誕を御祝いして、聖寿の無窮と国民の幸福をお祈り申し上げます。

鹿島祓

十二月二十八日 午前十時

十二節の青竹に飾り付けた当神社独自の祓具と、米・酒・塩を用い、社殿や神苑を祓う神事です。

この鹿島祓により御本殿を始め、社務所各部屋を祓い清めたのち、当社は新年を迎える準備に入ります。



御火焚串という木製の板に参拝者が自身が住所・氏名・願事などを記入し神前に奉納したものを、火の靈力によつて罪穢れを祓い、願意成就・無病息災・除災招福を祈願します。

毎年冬至の日に積み上げた御火焚串に点火し、炎上祭を斎行します。

御火焚串は境内にて授与しております。(初穂料五百円)

御火焚串炎上祭

十二月二十二日 午前九時

# 笠間稻荷神社曰志

平成二十三年

**赤字** 祭典  
**緑字** 行事  
黒字 講中參拜・正式參拜

一月

歲日祭



三日	笠間市消防団初詣・小松稻荷講 <b>元始祭</b>
五日	JR水戸鉄道サービス(株)・明誠講・ <b>鉾始祭</b>
六日	根崎解体工事(株)
七日	海上芋苗組合
九日	昭和天皇選挙式
十日	初甲子祭
十一日	東毛敬神講・穂波会 野尻笠間講・(株)横山喜惣治商店 桜川市たばこ耕作共励会・(株)国分建設

二十七日	笠間稻荷門前講
二十九日	笠間稻荷神社敬神婦人会初詣
三十日	野中組稻荷講・下三ヶ尾笠間講・堀の内組
二十八日	（株）ナテツク (有)秋田土木・房地講・正徳講
二十九日	交通安全協会谷原分会
三十日	亀戸香取神社宮司香取邦彦様来社 東京平和講嶋田商会・石井工業信友会
二十一日	御本殿置奉納奉告祭
二十二日	二十三日 野田市今上笠間稻荷講・弥栄講
二十四日	キヤラエリー・ペー(株)・柏崎講
二十五日	幸手講
二十六日	防災訓練
二十七日	二十八日 ヤマト運輸(株)茨城主管支店 茨城綜合警備保障(株) 旗岡八幡神社宮司松本仁様来社 笠間口一タリークラブ初詣 尖閣諸島安全祈願祭 古札炎上祭

五日	共榮講・石の葉講・都賀町講・山高野講
六日	木間ヶ瀬笠間講・船形觀光友の会
七日	大山笠間講
八日	栃木市笠間会・太木講
九日	初午大祭・針供養祭 下古山講・並木町笠間講・東京八方講 川上実行組合・取手市機械工業会 阿字ヶ浦保食講・サカイ会祈願会 武井神社宮司齋藤吉仁様来社 台東区老連寿支部

A photograph showing a large crowd of people gathered behind a red and white striped barrier, likely at a public event or competition. The spectators are mostly adults, some wearing hats, and are looking towards the left side of the frame. In the background, there are trees and a clear blue sky.

二月

舊大祓式  
笠間・友部街商組合

旧暦正月 節分祭追儺式 女優羽田美智子様、エチオピア大使マルコス・タクレ様 ご奉仕

十一日	紀元祭
十二日	野田市信栄講・船形笠間稻荷講
十三日	中峰笠間講・鶴ヶ丸講
十四日	野田市蕃昌笠間稻荷講
十五日	祈年祭・初穂講大祭
十六日	J A ながの信濃町支所億友会
十七日	井沼方講・中野台笠間講
十八日	豊田稻荷講・旭市奉贊会・松原稻荷神社
十九日	網戸中宿稻荷講・川口商栄講・
二十日	元町笠間稻荷講
二十一日	東京弥栄講
二十二日	出羽三山神社職員御一同様来社
二十四日	貴船笠間講・野田七親講 当社責任役員会・総代会
二十五日	神宮大宮司鷹司尚武様来社
二十六日	鶴岡八幡宮宮司吉田茂穂様来社
二十七日	山梨県神社庁長羽中田進様来社 笠間一心講・宋町講 本妙講・大相模笠間講・ 下落合笠間稻荷講・

四月

三日	出羽三山神社職員御一同様来社
五日	山梨県神社庁峡南支部長深澤哲夫様 来社
六日	笠間稻荷高柳講・上花輪稻荷講
八日	森ノ根稻荷講
十日	甲子祭
十三日	秋山講
十六日	旧初午大祭
二十一日	春季皇靈祭遙拝式
二十四日	繪馬祭奉告祭
二十六日	心和講
二十八日	幸栄親睦会
二十九日	浦和辻神仰会
三十日	新入社員研修開始
一日	新入社員入社奉告祭
二日	神社本庁副総長・神社新報社社長・ 熱田神宮宮司
三日	小串和夫様来社
四日	大櫻笠間講
五日	神武天皇遙拝式
六日	小笠原流弓馬術礼法小笠原御夫妻 来社
八日	神宮少宮司高城治延様来社 水戸東照宮宮司久米草夫様来社 例大祭
九日	東日本大震災復興祈願祭 東京笠間講
十日	

五月

かさまを彩る菊もよう

日本三大稻荷  
笠間稻荷神社

# 大菊人形花展

平成23年

10月15日土～11月23日祝水

8時半～16時半（入場は16時まで）

※但し10月15日は11時～



菊人形展  
江

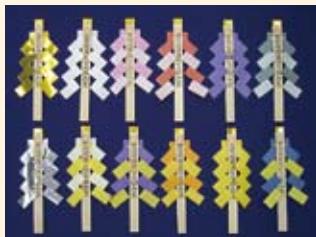
第104回  
笠間の菊まつり



## 月詣り

御祭神宇迦之御魂神は「いのち」の根の神として、衣食住・殖産御守護と、人々の生活すべてに御神徳のある大神様であり、恩頼にあずかる崇敬者の中には「月詣り」をされる方が大勢いらっしゃいます。

月詣りとは、月毎に大神様の加護を受け、前月よりの平穏無事を感謝し、新たな御神徳を頂くことであります。月詣りの方には神苑に咲く花を表した御幣を授与しております。どの月からでも始められますので、ご希望の方は受付までお申し出下さい。



## 祈祷案内 報賽

報賽とは、大神様にお礼を申し上げるご祈祷です。

お正月には新年のご挨拶と共に一年の無事を祈り、年の終わりにはお礼のご祈祷を致しましょう。大神様のご加護により、日々無事に過ごすことができている事を感じ、当たり前のよう起きている事へも感謝するところに、更なるご加護を頂く事ができるでしょう。

当社ホームページからもご祈祷のご予約ができます。  
◎ホームページ  
<http://www.kasama.or.jp/>

## 奉納募集

当社では威儀物や祭典に用いられる祭具のご奉納をお受け致しております。

ご奉納頂ける方は当社社務所までご相談下さい。また、これまでにご奉納頂きましたご崇敬者の皆様に厚く御礼申し上げます。



## ◎奉納者芳名

杉本 栄 殿

「三方二台」

小一条 忠平 殿

「朱塗り三方五台」

沼尻産業株式会社

代表取締役社長

沼尻 年正 殿

# 常陸七福神靈場



## 七難即滅、七福即生

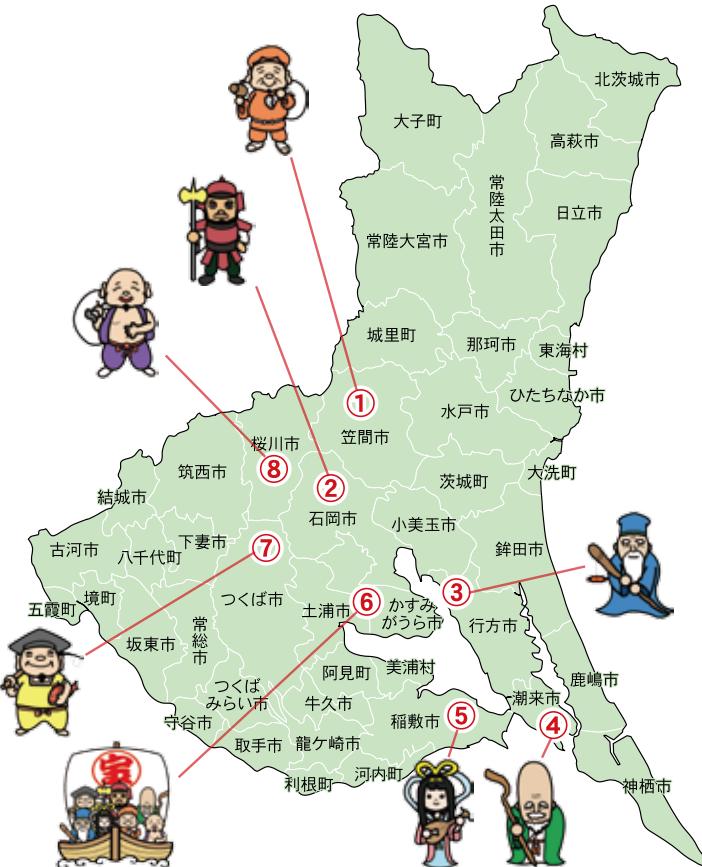
七福神信仰は、室町時代より続く庶民信仰で、七福神とは「日本・中国・インドの三国の福の神が七神そろって宝船に乗り、人々に幸福をもたらす」という、庶民のための心やさしい神様のことです。

常陸七福神は、霞ヶ浦を中心全国でも珍しく八つの神社とお寺に安置されています。

日本には数多くの七福神めぐりがありますが、常陸七福神めぐりは全国で最も巡拝路が長く、達成感はひとしおです。各社寺で朱印や御守りを授与しております。どうぞ巡拝し、幸福をお受け下さい。

# 常陸七福神めぐり

お問い合わせは各社寺へ



東京・日本橋  
七福神詣も  
どうぞ！

下町の情緒あふれる日本橋でも、七福神めぐりが出来ます。日本橋七福神は、どの神様も神社に祀られており、巡拝路が全国で最も短く、約二時間で巡拝が叶います。

当社東京別社には、長寿延命・お導き・幸福の神様である寿老神が祀られており、正月には初詣参拝者と共に七福神詣の巡拝者で社頭が大変賑わいます。詳細は左記の各神社にお問い合わせ下さい。

① 寿老神	笠間稻荷神社東京別社
② 恵比寿神	中央区日本橋堀留町一一一一一 中央区日本橋浜町二一一一一六
③ 恵比寿神	中央区日本橋人形町三一一十
④ 福禄寿・辨財天	小網神社
⑤ 布袋尊	中央区日本橋小網町十六一一二十三
⑥ 辨財天	中央区日本橋人形町一一一一一
⑦ 大黒神	中央区日本橋蛎殻町二一一四一一
⑧ 毘沙門天	中央区日本橋人形町一一十五一一二

⑧ 毘沙門天	末廣神社
⑦ 大黒神	松島神社
⑥ 辨財天	水天宮
⑤ 布袋尊	茶の木神社
④ 福禄寿・辨財天	小網神社
③ 恵比寿神	寶田恵比壽神社
② 恵比寿神	樋森神社
① 寿老神	笠間稻荷神社東京別社

中央区日本橋人形町二一一二十五一一二十一

# 授与品紹介

2



1



3



4



5



- 1 大黒天神札 (100円)
- 2 七福神朱印色紙 (600円)
- 3 大黒天絵馬 (500円)
- 4 大黒天カード守 (500円)
- 5 大黒天福德守 (800円)



▲甲子の日には、甲子祭が斎行されます。商売繁盛、開運招福を願う甲子講の皆様が、たくさん参列されています。(初穂料500円より)

## 七福神で八つの幸せ



### ① 笠間稲荷神社

# 大黒天



▲大黒天は、笠間稲荷神社拝殿の右側、藤棚の奥に祀られています。

笠間稲荷神社には、常陸七福神のうち大黒天が祀られています。大黒天は、中世、仏教とともに日本に伝えられ、大国主命と習合し、一体の神となりました。糧食を司る神で、福德や財宝を与える神として信仰されております。主に、くくり頭巾、狩衣姿で、左肩に袋を背負い、右手に打ち出の小槌を持ち、米俵の上にのった姿をしております。御縁日は、隔月甲子の日で、十五時より甲子祭が斎行されます。ぜひご参列ください。



# 神社のいろは



**Q** 神社では誰でも結婚式を挙げることができるのですか？

**A** できます。神前結婚式を挙げる上で大切なことは、神社を信仰する気持ちで、大神様の前で夫婦の誓いをすることに意味があります。

**Q** 式の費用はどのくらいかかるのでしょうか？

**A** 当社では鶴式10万円、亀式5万円の二通りあります。詳細は神社にお問い合わせ下さい。

**Q** 三三九度とは何ですか？

**A** 三三九度とは、酒盃を取り交わす回数を表したもので、酒を一杯飲むことを一度といい、三杯（三度）飲むことを一献として、これを三献、つまり九杯（九度）酒盃を頂く作法のことをいいます。大神様にお供えした御神酒を新郎新婦が戴くことで、夫婦の契りが固く結ばれます。



**Q** 自分の好きな衣装を着てもよいのでしょうか？

**A** 大神様に失礼にならない衣装であれば、和装・洋装どちらでも結構です。

当社では衣装のご用意や美容室のご紹介は致しておりませんのでご了承ください。

神前結婚式のお申し込み・ご質問・ご相談等は、神社内 崇敬係（すうけいかかり）までお願いします。また、祭典等の都合によりご案内できない場合がございますので、ご来社前に必ずお電話にてお問い合わせ下さい。

笠間稲荷神社社務所 0296(73)0001